



LAC (国際教養コース・類型) Newsletter No.5

Hyogo Prefectural Takarazuka Nishi Senior High School July 17th, 2026

2-6 LAC 特別講座 学んだこと

・今回の授業を通して貧困問題について良く考える機会になりました。ユニセフについては元からCMなどで知っていましたが、今日の授業を通して、深く重い話だなと思いました。食料も取れない、暮らせる家もない状況に自分になることはとても考えられませんでした。ですが、現状を知る機会となって良かったです。

・今日の講義を通して、自分も国際機関などで世界の貧困を少しでも解決するために働いてみたいと改めて強く感じる事ができました。負の連鎖というワードがあったようにこの状況を変えることができるのは先進国にいる私たちであり、誰かがやらないとその連鎖は止まらない。そして、色々な理由で親を失い、その失ってしまった子供達同士でも格差をつけ暴力でお金を奪い合い、それを大人たちは見えないふりをして、国家は支援さえできてない状況を見捨てることはできないなと感じました。でもそれは子供は悪くなくて、こんな負の連鎖を作ってしまった世界がダメなんだと思いました。本当に貴重な話をたくさん聞けて、教育・健康・所得の3つの点から考えることでいろんな見え方ができるんだと学びました。

・動画をみて、自分の今の生活とは全く違う生活をしている子供が世界にはたくさんいると知りました。今回の授業で初めて詳しく世界の貧困などの子供が抱えている問題を知り、問題の深刻さや解決への道が難しいことを知れました。所得、健康、教育の分野で負のサイクルが起こることによって世代を超えて影響が及ぼされていくと知り、そしてそれは他の国の話じゃなくて日本でもどこかで起こっている問題だとわかりました。

・今回北川先生の講義を聞いて自分はわがまま言ってはいけないなと改めて思いました。私は普段「これ食べたい」や「お茶とってー」などいろいろなわがまを言って叶えてもらっています。それは普通じゃないことがわかり、ハイチの子やスーダンの子はわがまま言いたくても言えない子が沢山いて驚きました。自分の親がどこにいるのかわからなかったり、ましてや亡くなっているのかもわからないそんな状況で、自分自身で生きていくことは私には無理だと思いました。日本では道端で酔っ払って倒れてる人はいますが、しんどくて生死を彷徨って倒れてる人はなかなかいないし、現実的ではなかったですが、同じ今を生きている子の中に道端で亡くなる子がいると考えるだけで心が痛みます。そんな子を1人でも助けようと思って行動できる人たちはすごいと思います。わたしもいつかそのような人になりたいと心の底から思うことのできる素晴らしい講義でした。ありがとうございました。

・今回の特別講座を受けて、世界中に沢山の過酷な状況に置かれている子供たちがいる事を学びました。特にハイチが凄く悲惨で、子供たちが親がどうなったかも分からないまま路上で過ごしているのが凄く印象に残りました。ハイチの治安や今の状況が早く改善されて欲しいです。

・今回様々な映像を見たけど、今の私の生活では想像できないほど過酷なもので信じ難いものでした。衝撃を受けたと同時に、今こうして不自由なく生活できていることに対してありがたいことだなと思いました。今の私は好き嫌いを沢山したり、勉強が嫌だなと不満を言うことがあるけど、勉強をしたくてもできない子や、食べたくても食べれない子が沢山いるのだということを実感できていませんでした。今回のお話を聞いてそれらのことに気付かされました。私一人の力で現状を大きく変えることはできないけど、将来寄附などの形で少しでも力になりたいと思いました。普段の生活では聞くことのできない、けれどとても重要なお話を聞けてよかったです。

・今日の講座を聞いてすごく人生のことについて考えさせられました。ニュースやネットなどで小さい子供が一人で働いているという話などをよく聞くことがありましたが、あまり想像もできず自分と関係ないしと思ってしまうことがありました。今日の講座でお金や食べ物、人身売買に悩んでいる人の動画を見ました。見た瞬間、自分がもしこの子達だったらどうしたらいいのだろうと、心が痛くて何も考えられませんでした。小さい頃から親や自分のために働いたり、一人で暮らしたり、今の自分には考えられないほど過酷でした。私は毎日当たり前のようにご飯を食べれて、お金があって住む場所も服にも困ってない暮らしをしていて、毎日がこの暮らしなので当たり前と思っているところがありました。でも、この当たり前がない人たちや場所があってほんとに心が痛かったです。この人たちのために自分ができること、募金をしたり、服がない人たちに送ったりしたいです。この状況を色んな人に知ってもらって、少しでもこのような人達が少なくなるように出来たら凄く嬉しいです。そして、今の生活に感謝して一日一日を大切に生きて過ごしたいと思いました。

・今回の講義を受けて、世界には私たちが普段当たり前だと思っている生活を送れない人がたくさんいることを改めて知りました。特に、貧しさが原因で栄養の偏った食事しかできない子どもや、学校に通いたくても通えず、中退して家で一生懸命勉強している同い年の17歳の子がいることがとても印象に残りました。また、人身売買の被害に遭い、本当は子どもがほしいのにその夢をかなえられない人がいるという現実にも大きな衝撃を受けました。自分が今、安全な場所で生活し、学校に通い、将来について考えられることは決して当たり前ではないのだと感じました。今回の授業を通して、世界で苦しんでいる人たちの現状を知ることの大切さを学びました。これからはニュースや国際問題にも関心を持ち、自分にできる支援や行動について考えていきたいです。

・今まで子供の貧困について知る機会といえば英語の長文を読んだり英語の長文で見るくらいだったけれど、今回実際に動画を見て先生の話聞くことで、文を読むだけではわからない、感じることもできない貧困の実態を知ることができ、「百聞は一見にしかず」と言う言葉を感じました。特に、子供が貧しい子供をいじめてお金を奪ったり、親に捨てられたことを馬鹿にされたくないから親が死んだことにしたり、自分が今まで見聞きしたことのない光景が当たり前のように広がっているということを目の当たりにして、自分が思っている以上に貧困は深刻なものなのだと思います。

・正直、世界の貧困問題についてあまり気にしたこともなかったし、貧困な子供があんなにも過酷な状況で暮らしていることも知らなかったのが今回の講義でじっくり考えることができて勉強になりました。まだまだ貧困問題は解決していかなければならないと思うので、世界中の人が知ってほしいと思います。

・今日の講座を受けて、自分の今いる状況がどれだけ恵まれているかわかりました。また、世界の貧困問題についての考え方や捉え方が大きく変わりました。日本では学校に通うのが当たり前だという固定観念が染み付いていますが、通わせてもらえていることがどれだけありがたいことなのか、もう一度考え直すきっかけにもなって良かったです。なので安易に学校に行きたくない、テストがめんどくさいなど言わないようにしようと思いました。メキシコでは17歳の男の子が弟たちを学校に行かす為に働きに出ていて、フランスでは月7万円で生活をやりくりし、移民のほとんどの学生は言葉が理解できず授業に遅れる。ハイチでは、路上で子供達が栄養失調で亡くなっていき、インドでは人身売買が行われており、売春をしなければ生きていけない状況下に置かれている。私は今まで何度も、世の中にはご飯を食べれない子供もたくさんいるんだよと聞かされきました。事実としてそれは分かっていたつもりでしたが、その背景までは知ろうとしませんでした。なので今回、世界各地の貧困の中で暮らす子供たちをみて本当に衝撃を受けました。路上で子供が栄養失調で倒れ、亡くなるのを私は見たことがありません。それを当たり前のように受け入れている、受け入れるしかないハイチの環境がどれだけ過酷なものなのかを少しは知ることが出来ました。また、これを踏まえて貧困問題を見て見ぬふりをするのではなく、世界全体で考えていくべきだと思いました。

・今までの講座よりテーマが少し重くて、自分の周りでは起こらないような内容だったので、新しい学びがたくさんありました。栄養バランスが良い食事を食べることは、健康や教育、仕事の全てにつながっていくということがわかりました。負の連鎖を断ち切るためにも国の機関や地域が支援していくことが重要だと思いました。

・ご飯が食べられたり、学校に行けたり、住む場所があるのは当たり前じゃないことを改めて知りました。今回の授業で見た動画では人身売買された少女の話や、母親を亡くした子供たちの話でした。この動画を見て、安心安全に暮らすことができる環境にもっと感謝をしなければいけないなと感じました。もし私自身がこのような環境に置かれたら、絶望してしまい、生きていくことすら難しいと感じると思います。だから今の恵まれた環境を当たり前と思わず、一日一日を大切に過ごしていきたいです。

・今日学んだことは日本にいとる感じにくいことだったのですごく残酷だと思った。特に人身売買はその人に問題があるわけではないからとても可哀想だった。もし私がそのような環境に生まれていたらと思うととても怖いです。この講座を通して色々なことを学べて良かったです。

今回のテーマはとても重たく、心が痛む話でしたが、世界にはこのようなこともあるということを知って、自分たちが置かれている環境を振り返りながら、周りに感謝する心を忘れないでいてほしいと思います。みんなの感想を読んでいると、すでにしっかり北川先生の思いを受け取ってくれていることを感じられて、さすが2年6組だなとうれしかったです。